H20 「中東グループ研修」プログラム	
テーマ	開発と社会
アドバイザー	筑波大学特任教授 塩尻和子氏
参加者および	Aomar MOHELLEBI /アルジェリア
出身国	Sidi Mohammed MOHAMMEDI /アルジェリア
	Amna Hamad AL-ROMAIHI /バーレーン
	Majeed Safar JASIM /パーレーン
	Mohammad DADKHAH TEHRANI /イラン
	Mostafa MEHRAEEN /イラン
	Ra'ed Fawzi IHMOUD /ヨルダン
	Tayseer Yousef ABU ODEH /ヨルダン
	Mohammed Shaaban EI-Sayyid METWALLY /クウェート
	Lara Mansour CHAHOUD /レバノン
	Abdelhamid ADDI /モロッコ
	Sam A. F. ALFOQAHAA /パレスチナ
	Vivian TURK /シリア
	Ozgur SARI /トルコ
	Ali Ali Abdullah DEHAQ /イエメン
期間	21 日間(2008/11/10~2008/11/28)
講義	基調講演(筑波大学特任教授 塩尻和子氏)
	日本の戦後政治と外交政策
	(外務省総合外交政策局政策企画室企画官 石田訓夫氏)
	日本の貧困克服
	(アジア経済研究所研究支援部部長 佐藤寛氏)
	日本の高齢者ケアの展開
	(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部教授 太田貞司氏)
	太平洋戦争と広島 広島の現代的意味
	(広島修道大学名誉教授 岡本三夫氏)
	近代日本の宗教と国家
	(東京大学文学部大学院人文社会系研究科宗教学宗教史学科教授 島薗進氏)
	神道、能、茶道:<深層文化>あるいは<頂点文化>の観点から
	(筑波大学大学院哲学·思想專攻教授 津城寬文氏)
	日本の経済思想の発展と変化
	(明治学院大学国際学部教授 モハマド・ナギザデ氏)
視察など	<省庁、大学など>
	外務省広報文化交流部、早稲田大学(イスラーム地域研究機構の研究者と懇談)

<文化・歴史・宗教など>

東大寺(森本長老の講和)金閣寺、姫路城、鳴門大橋、しまなみ海道、広島平和記 念資料館/原爆ドーム、厳島神社、明治神宮

<企業や地域・自治体の取り組みなど>

日産自動車株式会社追浜工場、衣笠ホーム、人と防災未来センター、瀬戸大橋記 念館

個人研究

・「万人のための教育:それは万事良いものか?」

(Abdelhamid ADDI)

・「社会発展における E ラーニングの役割」

(Amna Hamad AL-ROMAIHI)

・「家族と地域開発:比較によるアプローチ」

(Sidi Mohammed MOHAMMEDI)

・「日本とレバノン: 平和・発展・近代化のために学ぶべき課題」

(Lara Mansour CHAHOUD)

・「日本における近代化の実験:イラクおよびアラブ地域再建のための教訓」

(Ra'ed Fawzi IHMOUD)

・「教育と文化的アイデンティティ:アルジェリアと日本の経験」

(Aomar MOHELLEBI)

・「持続可能な文化: 伝統工芸に関する日本の政策」

(Vivian TURK)

・「文化創造の条件: 1920-1980 年のイランにおける近代化言説の起源(日本の1900-1980 年と比較して)」

(Mostafa MEHRAEEN)

・「日本文化発展におけるポストモダニズムの役割」

(Tayseer Yousef ABU ODEH)

・「異なる文化に対する寛容性・感受性涵養のための日本市民社会の役割」

(Sam A. F. ALFOQAHAA)

・「日本における、持続可能なコミュニティ開発のツールとしての技術教育:社会状況を向上させる技術者の潜在性についての研究」

(Mohammed Shaaban EI-Sayyid METWALLY)

・「気候変動と人間開発: 異なる社会間における比較研究」

(Majeed Safar JASIM)

・「コミュニティに根ざした地域開発: 計画・実施・モニタリングおよび評価」

(Ali Ali Abdullah DEHAQ)

・「産業の発展と社会的行動の関係」

(Mohammad DADKHAH TEHRANI)

・「倫理的価値観と発展: 日本の経験とムスリム社会」 (Ozgur SARI)